

1912年～2008年夏季オリンピック日本代表選手団に関する資料:
所属組織と最終学歴を中心に
**The Japanese National Team at the Summer Olympic Games, 1912-2008:
Affiliation and Educational Background**

東原文郎

Fumio TSUKAHARA

札幌大学

Sapporo University

キーワード: 夏季オリンピック, 五輪選手団名簿, 現所属組織, 最終学歴

Key Words: Summer Olympic Games, Japanese National Team, Affiliation, Educational Background

【抄録】

本稿は、1912年ストックホルム大会から2008年北京大会までのオリンピック夏季大会を対象に、オリンピック日本代表選手団の資料を整理し、選手の所属と最終学歴について考察することを企図した。

選手の一覧を作成し、性別、学生/学卒別所属、学校種別最終学歴について単純集計して考察した。その結果、女性選手の台頭、学生選手のプレゼンスの低下、自衛隊・警察組織の貢献度の高さ、企業スポーツの移り変わり、大学院卒選手と高卒選手の増加、大卒選手数と割合の低下が明らかとなった。

スポーツ科学研究, 10, 242-316, 2013年, 受付日: 2013年1月31日, 受理日: 2013年11月29日

連絡先: 札幌市豊平区西岡3条7-3-1 札幌大学中央棟7305室 tsukahara.su@gmail.com